

3) 初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数

【2019年度】

	初発					再発	病期分類 基準 (※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	177人	21人	12人	36人	19人	42人	1	7,8
大腸癌	85人	40人	85人	40人	63人	82人	1	7,8
乳癌	26人	13人	-	-	-	85人	1	7,8
肺癌	148人	52人	59人	75人	13人	232人	1	7,8
肝癌	55人	42人	-	-	-	41人	1	7,8

※1：UICC TNM分類、2：癌取り扱い規約

この指標は、5大癌（胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌）について延べ患者数で示しています。

UICC TNM分類により、原発腫瘍の進展範囲（T）、所属リンパ節転移の有無と進展範囲（N）、遠隔転移の有無（M）の3つの要素の評価に基づいて悪性腫瘍の進行度（ステージ）を分類しています。

初発とは、初診で腫瘍と診断、あるいは治療を実施した場合を指します。

再発とは、初発に対する治療を行った医療機関を問わず、初回治療が完了したあと診療を行った場合、または、がん寛解後局所再発・再燃や新たな遠隔転移により、当センターで診療した場合を指します。

なお、10人未満は－（ハイフン）で表示しております。

当センターは、地域がん診療連携拠点病院として大腸癌・肺癌・胃癌・乳癌・肝癌と幅広く治療を行っております。